

理念体系

創業理念「顧客第一」

顧客とは広義において社会全般を意味する。顧客第一の精神とは、永続性のある信頼を顧客から得ることである。そのためには、個人あるいは企業自身の行動が、先方に利益と幸福をもたらすという信念に立脚して、自己の良心に従い、何事にもベストを尽くさなければならない。

企業理念

1 永続的に成長し、社会に貢献する会社づくり

- ①付加価値の増大を通じて企業の永続的成長を図り、もって顧客、関連企業の繁栄と、社員の豊かな生活づくりをめざす。
- ②社会のニーズに合致した技術を通じて、豊かな環境の創造と産業社会の発展を図り、もって社会への貢献をめざす。

2 魅力ある会社づくり

- ①仕事を通じて、個人の創造性、活動性を実現できる、働き甲斐ある会社づくりをめざす。
- ②相互信頼、協調、合理性の精神のもとに、全社員が一体となって企業目標を達成する組織風土の会社づくりをめざす。
- ③〈エネルギー・空気・水〉の探求を通じて、技術、市場、人材開発等、企業経営のあらゆる面においてユニークな会社づくりをめざす。

中期経営計画における基本方針と方向性・戦略

基本方針	方向性	戦略
<p>グローバル市場における確固たる地位の確立</p> <p>競争力・収益力を高め、国内外設備業界における確固たる地位の確立を目指す。</p>	<p>事業基盤の強化</p> <p>競争力の向上</p> <p>収益性の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● バランスの取れた事業ポートフォリオの構築～環境変化、景気変動への対応 ● 付加価値の向上～省エネ・省コスト・環境対応技術や自動化技術など ● 研究所の拡充・活用～技術開発力の強化と、技術の見える化による提案力の強化 ● 成長市場への経営資源の重点配分 ● 生産性向上～現場作業の工法・業務プロセスの改善と水平展開、IT活用など
<p>将来への取り組みの強化</p> <p>市場環境の変化を見据え、ビジネス機会とする仕組み・体制づくりを推進する。</p>	<p>事業領域の拡大</p> <p>環境対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 既存主要事業領域の深化 ● 新規事業の拡大～植物工場事業や自動車以外の大型自動塗装事業など ● 顧客の環境課題の解決力強化～空調事業で培った技術力を活かした、温室効果ガスや環境負荷物質の削減など
<p>魅力ある会社づくりと強固な経営基盤の構築</p> <p>会社の魅力を高める人材戦略と、社会的信用を高めるコーポレート・ガバナンス体制の強化を進める。</p>	<p>人材戦略</p> <p>ガバナンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 人材の確保～柔軟な働き方を可能にする制度の拡充や処遇の向上、勤務時間の低減など会社の魅力を高める施策 ● キャリアプラン制度の浸透～社員の能力伸長とやる気の向上 ● コーポレート・ガバナンス体制の強化～取締役会の経営監督機能の向上、資本コストを意識した経営など ● 国内外における内部統制体制の強化

長期ビジョン

「特色あるエンジニアリングを通じ、
最適な環境を創造するグローバルな企業グループを目指す」

技術

エネルギー・空気・水に関わる技術で、お客様の多様なニーズを満たすエンジニアリング集団を目指す。

環境

先進的なソリューション技術でお客様の環境課題を解決し、豊かな地球環境を未来へ引き継ぐことに貢献する。

人材

個人の創造性・多様性を尊重し、社員が自己の成長と働く喜びを感じることができる風土を大切にする。

2021年3月期の実績(一例)

- 安定的な調達先、協力業者の確保
- 健全な財務基盤の維持

- IoT・AIなどを活用～新たなソリューションの開発推進
- PR力強化による企業認知度の向上

- プロジェクト管理体制の強化

- 未進出国への事業エリア拡大
- 海外グループ企業とのアライアンス推進～海外顧客ニーズへの対応力強化

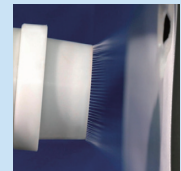
- 事業を通じてSDGs、ESGなどの社会的ニーズに対応～新たなビジネス機会として追求

- 多様な人材の活用による人的資源と組織力の増強
- 各海外子会社の状況に合わせた社員の確保

- グローバルなリスク管理体制の拡充～法務リスク、情報セキュリティ、コンプライアンスなど

1. 塗着効率100%の自動塗装システムの実現

当社は、電気で塗料を微粒化する静電霧化塗装システム「i-ESTA100TE」をトヨタ車体株式会社様と共同で開発。本システムにより、これまで難しいとされた塗着効率100%を実現し、ブース関連設備の簡略化・エネルギー削減に加え、環境負荷の低減が可能となりました。



2. 植物工場事業のさらなる領域拡大と、初の自社量産工場の建設

2021年9月、自社量産工場からレタスを初出荷。これを機に当社グループでは、プラント建設から野菜の生産・販売まで手がける総合アグリ事業者として、新たなブランド構築を目指します。



3. テレワーク制度の導入と「健康経営優良法人2021」(ホワイト500)の認定取得

→ テレワーク | P.55 | → 健康経営 | P.56

今後も、柔軟な働き方を可能にする制度の拡充や処遇の向上、勤務時間の低減など会社の魅力を高める施策を推進。



経営数値目標

2022年3月期 数値目標

受注工事高	完成工事高	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	自己資本 利益率 (ROE)	投資計画
2,650億円	2,600億円	160億円	100億円	8%以上	200億円

自己資本利益率(ROE)については、資本コストを上回ることを目指し、企業価値の向上に努めます。